

人生儀礼（通過儀礼） 成人式（せいじんしき）



- ▶ 現在の成人の日は・・・1月の第2月曜日
- ▶ 日本では古くから男の子が大人の仲間入りをする通過儀礼が行われていた

奈良時代以後から『元服（げんぷく）』と呼ばれるようになっていた
宮中や貴族社会では、13歳から15歳くらいになると元服して髪形を成人の
髪形に変え、冠をかぶるようになり、着るものも成人の服装に変わった

中世以降の武家社会では、15歳になると『元服の儀式』があり、童名から大
人の名前に変わり、烏帽子（えぼし）という冠をかぶるように

江戸時代になり、烏帽子をかぶる習慣はなくなり、庶民の間でも18、19歳
で元服が行われるようになった

人生儀礼（通過儀礼） 成人式（せいじんしき）

- ▶ 女の子は複雑で、時代によって女性の大人入りはかなり変化している

平安時代中期 13歳から16歳くらいになると垂らしていた前髪を結い上げて髪上げをして、お歯黒や眉墨が許されるようになった

しかし、江戸時代では結婚後になった



- ▶ 昔は男性は15歳くらいから、女性は13歳くらいから大人扱いをされていた